

日時：令和8年4月17日(金)18時30分から20時00分まで

場所：文京シビックセンター20階 教育委員会室

○ 文京区立中学校部活動地域展開等に関する検討会議について

- ・ 委員の互選により、委員長は順天堂大学スポーツ健康科学部教授の青木委員に決定した。

【事務局からの説明】

- ・ 委員の任期は2年であり、令和8年度の中学校部活動地域展開等に関する検討会議は計4回を予定している。

○ 部活動の地域展開に係る国の動きと区市町村による取組について

【事務局からの説明】

- ・ 文部科学省が令和7年12月に策定した「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要について説明した。昨年までの「改革推進期間」から新たに令和8年度から令和13年度を「改革実行期間」としている。
- ・ 令和8年度から令和10年度を「改革実行期間」の前期として、休日は、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指すこと、平日については、各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進する取組方針である。

○ 「文京区立中学校部活動地域展開実施計画2026」について

【事務局からの説明】

- ・ 少子化の進展や教員の働き方改革など社会環境変化のなか、持続可能な活動ができるよう国・都のガイドライン（方向性）に基づき、文京区としての推進計画を策定し取りまとめた。
- ・ 令和8年度から令和10年度の3年間を計画期間として、休日における運動部活動の教員に頼らない指導体制の構築を第一目標とした。
- ・ 目標達成に向けた具体的な主な取組として、「地域クラブ活動の土台作り」、「部活動の地域展開について理解促進」、「豊かな活動の提供」の3点を掲げ、推進する。
- ・ 最初の取組として、休日における運動部について「地域クラブ活動」を開始するが、現在、学校単位で行っている全ての運動部活動を一律に「地域クラブ活動」にするのは現実的ではないため、令和9年度に、サッカーとバドミントンの地域クラブ活動を先行して開始したい。
- ・ 各学校の部活動ごとに意向調査を実施し、部活動を継続するのか、「地域クラブ活動」へ移行するのかを確認する。また、調査の結果を踏まえ、「地域クラブ活動」の会場校を検討する。
- ・ 推進にあたっては、生徒、教員、保護者、地域の方々のご理解・ご協力が必要不可欠である。
- ・ 本計画を広く周知する必要があるため、生徒、教職員ならびに保護者（地域の皆様）を対象に広報用チラシの配布や広報用動画の公開を進める。

【主な意見等】

- ・ 地域展開以降、新しい競技を展開することも考えにあるのか。

- 生徒が様々な体験ができる機会を提供するという観点で検討している。
- ・ 広く地域の様々なステークホルダーに理解が進んでいないという声がある。児童、生徒、保護者への周知はもちろん、地域住民への啓発はどのように進めていくのか。
- 生徒や保護者については、チラシを配布予定だが、地域へのチラシ配布に加え、コミュニティスクールの方々への周知も大事だと認識している。
- ・ 区の広報を活用し、学校以外の区民全体に周知していくことで、小学校にも周知が期待できる。
- ・ 区は、紙媒体の広報紙以外にも周知、理解が深められるような施策を考えられたい。
- ・ 国のガイドラインにも、これまで学校内の資源で行われてきた部活動を、地域全体で支えるという記述がなされている。中学生に様々な機会を与えるようお願いしたい。
- ・ 地域展開にあたっては、部活動競技ごとに実施主体となる地域クラブを探す必要がある。
- ・ 地域展開という名称を用いる形で会議名称を変更した。「地域で育てる」ということが大きな狙いである。生徒、保護者のみならず、地域の指導者になりうるの方々への周知や理解も必要である。
- ・ 児童、生徒からすると大会参加ルールがわかりにくい。中体連の方針も注視しつつ、移動手段や保険など受益者負担をどのように考えるかが課題であると認識している。
- ・ 保護者は、部活動に期待しており、やりたいことをやらせたい思いが強い印象がある。
- ・ 学校だけで引き受けることには限界があり、地域展開の意義を考え、みんながWIN-WINになるよう進めたい。
- ・ 子どもたちファーストで考えるのが一番大切である。その軸はぶれないようにしたい。

○ 文京区立中学校の部活動の現状について

【事務局からの説明】

- ・ 東京都が実施している部活動実施状況調査に基づき令和7年度の部活動の一覧について説明。
区全体として、運動部が14、文化部が18活動している。
運動部への加入率は、54.4%、文化部で37.6%となっている。
運動部に比べて、文化部は、専門的な指導ができる顧問が不在かつ、部活動指導員や部活動補助員も不在という部が多い現状がある。

【部活動アプリの提供会社担当より説明】

- ・ 文京区で導入している「部活動アプリ」は、全国200を超える自治体で導入実績がある。生徒と指導者が1対1で連絡できないような仕組みとなっている。

【主な意見等】

- ・ 「部活動アプリ」を知らない保護者も多くいると思うので、PTAとしては、役員や保護者に共有できるように推進したい。

○ 文京区立中学校部活動地域展開等推進ワーキング・グループについて

【事務局からの説明】

- ・ 区立中学校の部活動の地域展開の実現に向けて実施する休日の合同部活動のあり方等を総合的

に検討することを目的としてワーキング・グループ設置している。

- ・ ワーキング・グループの委員は、各運動部活動の顧問代表で構成され、委員長は音羽中学校長である。

【主な意見等】

- ・ 委員の対象部活動はどのように選んだのか。
→ 活動部員が多い部を優先している。将来的には、文化部も視野に入れたい。

○ 令和9年9月以降運動部活動の休日の活動に関する意向調査

【事務局からの説明】

- ・ 令和9年9月より、サッカーとバドミントンについて、休日における活動の地域展開をする予定である。そのため、令和9年9月以降、部活動を現状のままとするか、地域展開とするかの意向調査を各校に行う。また、令和10年9月以降の意向についても合わせて調査する。調査結果を踏まえて拠点校を決めて、地域展開を推進したい。

【主な意見等】

- ・ 学校部活動で活動すると決め場合に、例えばオフシーズンは地域クラブでやりたいなどの希望はできるのか。
→ 地域クラブにするとした場合は、学校部活動に戻すことはできない。
- ・ この調査は、学校としての意向表明になる。部員数の変動もあるため、トライ&エラーになることも想定される。他の自治体の事例では、特定の部活の部員が多くなり、管理が難しくなった事例もある。拠点校方式にするのか、やり方も含めて、議論の余地がある。
- ・ 中体連主催の大会に参加意向があれば、学校部活動での活動を継続するという理解である。

○ 今後の予定

次回開催日程の確認